

スナイパー・ライフル

人質犯やテロリストなどの凶悪犯罪に対して、もっとも一般的で有効な対抗手段は、狙撃だ。その精密狙撃に使用されるのが、スナイパー・ライフル（狙撃銃）である。戦場で使用される軍用スナイパー・ライフルよりも、警

察狙撃に使用されるスナイパー・ライフルのほうが、一般的に精度を要求される。戦場での狙撃は、単にミス・ショットで片づけられるが、警察狙撃のミスは、犯人を逆上させて人質の死につながりかねないからだ。また、最近、

複数のターゲットに、気づかれずに狙撃が可能なサイレンサーを組み込んだスナイパー・ライフルも数多く開発されている。



▲ドイツのAMPサービス社が製造しているAMPモデルDSR No. 1ボリス・スナイパー・ライフル。ボルト・アクションながら、ブルバップ・タイプで全長が短く、格納や運搬を容易にしている。グリップ後方のマガジンからチャンバーに弾薬を給弾する。グリップ前方のマガジンは、マガジン・ホルダーの装着された予備マガジンだ。

ゼロ・インされたスコープが狂わないように、夜間射撃では、昼光用のオプティカル・サイトをそのままに、前方にパッシブ・スコープ・コンバーターを追加装備させて使用する。口径オプションとして7.62mm×51、300ウインチェスター・マグナム、338ラプアがある。